



すべての人が関心を寄せるトレーサビリティ

2005年9月

近年の飲料食品産業において、トレーサビリティの重要性がどれほど高まっているかに気づいていない人はほとんどいないのではないのでしょうか。イギリスでは、違法着色料スーダン1やパラレッドが食品に使用されていたという騒動により、メーカー、販売店、消費者の間で、食品成分の品質を確かめることの重要性が見直されています。同時に、遺伝子組み換え食品に対する懸念から、一般消費者の間であらゆる食品や飲料の製造元を確かめたいという欲求が高まっています。近年、欧州において地元産の食品が再評価されている原因の一つとして、間違いなくこのような要因があります。消費者は、生産地域が判明している製品を安心して購入することを望んでいるのです。

過去において原料や生産プロセスは、生産または品質管理部長など、生産に携わる人々のみに関心を払う問題でした。しかし、最近の例では、このような問題が事業全体に影響を及ぼす可能性があることが示されています。商人、セールス、財務取締役や代表取締役にとって、1バッチの標準原料が、ブランドエクイティに傷をつけ、株価を下落させ、製品回収の費用を増大させ、将来的なセールスを危ぶみ、打撃的な結果を招く可能性を秘めています。

次ページに続く

1990年、「ペリエ」という名前はミネラルウォーターと同じ意味で使われ、成長セクターを代表するブランドとして重要な米国市場では15%のシェアを確立していました。しかし、2003年までに同社のシェアは3%にまで低下し、利益を捻出できない状態にまで落ち込みました。同社の低迷の決定的な理由となったのは、ノースカロライナの規制監督機関によりベンゼンの混入が検出され、後にオランダとデンマークの当局により正式に確認されたことでした。

この話はメディアで大々的に報道されたため、覚えていらっしゃる方も多いことでしょう。回収費用は総額2億5300万ドルに達し、株価が37%下落し、1992年にペリエはネスレに買収されました。

製品の安全性に懸念があると、世界最大のブランドでさえその座が揺らぎかねません。コカコーラは、1999年にベルギーで問題が発生し、100人の児童が入院するという事態を引き起こしたことを受けて、政府により全製品の禁止令が出されました。その後フランスにも禁止令が拡大され、ルクセンブルク、オランダでは販売制限が行われました。これにより約3000万ケースが1億300万ドルをかけて回収されましたが、これはコカコーラにとって史上最大の製品回収です。この後、コカコーラの株価は10%低下し、会長/最高経営責任者は退陣を余儀なくされました。

多くの飲料食品メーカーが抱える問題は、製品の完全性を確認するのに、完全に外部のサプライヤーに頼っていることです。スーダン1からの危険性は比較的小さいという証拠があるにもかかわらず、英国に輸出された粉末トウガラシからスーダン1が検出されたというだけで、世界中に深刻な問題としてその懸念が広がりました。販売店やメーカーは陳列棚から何種類もの製品を取り除くことを強いられましたが、この製品回収の費用は最低でも1億ポンドと見積もられています。この他に、ブランドエクイティや将来的な売り上げにも打撃が及びました。

次ページに続く

アシュアード・UK・モルト(AUKM)のスポークスマン、アイヴァー・マレルは、この点について、次のように語ります。「飲料食品産業の中で醸造・蒸留セクターほどブランドが重要なものは他にないといっても決して誇張ではありません。ビールやスピリッツでは、ブランドの確立と維持に多額の資金が投入されており、多くのプレミアム市場ではブランドがすべてです。アシュアード・UK・モルトスキームは、醸造メーカーや蒸留酒メーカーに、トレーサビリティと製造プロセスの各段階で高品質が維持されていることを保証するものです。AUKMの認証マークが付いた麦芽を選ぶことにより、麦芽を安心して使っていただくことができます。」

「2年前にこのスキームが導入されて以来、バイヤーと品質保証部長の間にそのメリットが浸透するようになりましたが、他のキー要員にはまだそのメリットが認知されていないようです。製品のトレーサビリティと完全性は、製造、上級管理職、財務部、セールス&マーケティングに大きな重要性を持ちます。このために、私たちは醸造・蒸留メーカーの全部門に情報を浸透させるよう努力しています。」

- 以上 -

エディター用の注記

アシュアード・UK・モルトスキームは2003年に導入されたもので、Drinktecでは、国際的な認識を誇る製品認証基準(EN 45011)として認められていることが発表されます。

このスキームについては、ウェブサイト www.assuredukmalt.com にて詳細をご紹介します。

このプレスリリースの詳細については、セレス・パートナーシップ(The Ceres Partnership)の以下の担当者までお問い合わせください。

ピーター・クロウ(Peter Crowe)
+44 (0) 1327 262200
+44 (0) 7967 504034
peter.crowe@ceres-pr.co.uk

エマ・マーフィー(Ema Murphy)
+44 (0) 1327 262200
+44 (0) 7748 113131
ema.murphy@ceres-pr.co.uk